



ALPOLIC[®] RF SERIES

ALPOLIC®/fr RF 01 [鏡面]

旧アルポリック/fr® RF



ALPOLIC®/fr RF 03 [梨地鏡面]

旧アルポリック/fr® BF



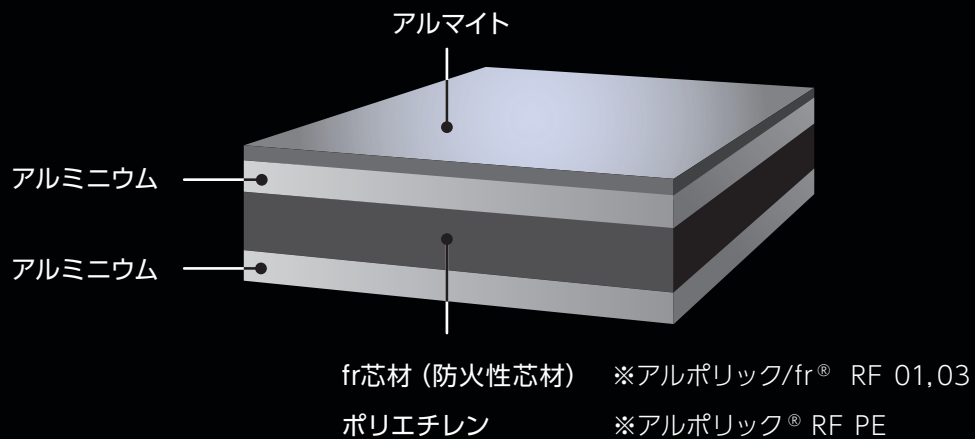
■ 映り込み具合の比較



ALPOLIC®/fr RF 01
ALPOLIC® RF PE

ALPOLIC®/fr RF 03

■ 素材構成



■ 特長

鏡面 / 梨地鏡面 仕上げ

塗装では表現困難な、金属素地特有の光沢感・質感を持つ仕上げが可能です。

割れない鏡面意匠材

衝撃を受けても鏡のように割れることがないため安全です。

らくらく施工

ボード下地の上に接着剤と両面テープで簡単に施工できます。

らくらく加工

切断、穴あけなど、種々の加工が可能で、現場切断も簡単にできます。

防火性能

不燃材料認定取得 (※アルポリック/fr® RF 01, 03)

仕様

品名	板厚(mm)	仕上げ	防火認定	定尺サイズ(mm×mm)	基本受注(枚/ロット)
アルポリック® RF PE (旧アルポリック® RF)	2	アルマイト(鏡面)	認定なし	1,220×2,440	2
アルポリック/fr® RF 01 (旧アルポリック/fr® RF)	3	アルマイト(鏡面)	不燃		
アルポリック/fr® RF 03 (旧アルポリック/fr® BF)		アルマイト(梨地鏡面)			

物性

品名	比重	重量(kg/m ²)	熱伝導率(W/m・K)	線膨張係数(×10 ⁻⁶ /K)	曲げ弾性率(N/mm ²)
アルポリック® RF PE	1.82	3.6	>0.51	平均25程度 (-20℃~60℃の条件下にて)	58,500
アルポリック/fr® RF 01	2.0	6.0	>0.95		48,000
アルポリック/fr® RF 03					

※上記の数値は、弊社測定値又は計算値であり、保証値ではありません。 ※仕様や規格は予告なく変更することがあります。

設計・施工の前に必ずお読みください



- ・本製品は内装専用であり、外部及び軒下等の半外部での使用は避けてください。また、内部であっても水分雰囲気のあるところでの使用は避けてください。
- ・施工前の加工・保管・輸送時及び施工後において、本製品と水分(結露含む)との接触を避けてください。
- ・本製品が水分や結露で濡れた場合は長時間放置せず水分を取り除いてください。
- ・本製品には目方向がありますので、保護フィルム上に印刷された矢印や文字の向きを揃えてご使用ください。
- ・本製品はアルマイト仕上げであり、大量にご使用になる場合はロット間で色調差が発生する恐れがありますので、ご発注の際は弊社にご相談ください。
- ・アルポリック® の切断面は大変危険ですので、手を切る恐れがあります。保護手袋を使うなど取扱いはできるだけ慎重に行ってください。切断方法によってはアルポリック® の小口にバリが発生します。ご使用状況に応じて、小口のバリ取り等の安全対策の実施をお願い致します。

- ・端部(こぐち)がアルミニウムを侵す環境(特に海岸部等)では注意してご使用ください。
- ・表面材はアルミニウムであり、湿潤状態で異種金属と接触しますと電位差によって電食が発生します。接合に使用するリベット・ボルト類は、電食等を考慮し、材質の選定を行ってください。
- ・表面の保護フィルムは直射日光・湿気により劣化し、糊残り等の問題をおこす恐れがありますので、乾燥した室内に保管するようにしてください。施工完了後は速やかにはがしてください。
- ・保護フィルムの上から接着テープやマジックを使用すると、製品の表面にその跡がうつることがありますのでご注意ください。
- ・ボード等の下地に、両面テープと弾性接着剤を併用して施工してください。鏡面または半鏡面仕上げ製品のため、接着剤が硬化する際の収縮により、表面にゆがみが発生する恐れがあります。塗布量が不均一にならないようご注意ください。
- ・アルポリック® の線膨張係数はアルミ単板とほぼ同等です。著しく温度変化が大きい環境下では、熱伸縮を考慮して適切に目地を取ってください。
- ・アルポリック® RFシリーズの熱変形温度はポリエチレン単体と比較して高く約110℃前後です。そのため大きな力がかからず短時間であれば100℃程度の高温にも耐えられます。ただし、実用上、高温雰囲気で長時間使用する場合は70℃以下でご使用ください。
- ・本製品はガラス鏡の製品とは異なり、金属表面を鏡面・半鏡面に加工した製品のため、事前に大板やカットサンプルでの映り具合(ゆがみ・明度)の確認をお勧めします。
- ・表面材はアルミニウムのため腐食のメカニズムはアルミニウム単板と同様に起こります。酸性やアルカリ性の物質(土やモルタル等)とは直接の接触を避けてご使用ください。
- ・アルミニウムと樹脂性芯材の複合材ですので、割れにくい素材ですが、衝撃又は異物の挟み込みにより、打こん・へこみ・エッジの変形が発生する恐れがあります。運搬・保管・加工、および施工時には十分注意してください。
- ・アクリルなどに比べて導電性に優れており、ホコリなどが付着しにくい特長を持っています。クリーニングは柔らかい布と中性洗剤で汚れを除去し、水洗後は乾拭きしてください。研磨剤クリーナーやスチールウールは使用しないでください。酸性やアルカリ洗剤および有機溶剤は使用しないでください。アルミニウムの腐食の原因となります。



三菱ケミカルインフラテック株式会社

本社	〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル	tel. 03-6748-7349	fax. 03-6685-5479
北海道	〒060-0807 札幌市北区北七条西4-3-1 新北海道ビル	tel. 011-746-6241	fax. 011-746-7427
中部	〒450-6419 名古屋市中村区名駅3-2-8 12 大名古屋ビルヂング	tel. 052-565-3584	fax. 052-564-0216
関西	〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル	tel. 06-6204-8470	fax. 06-6204-8474
九州	〒812-0026 福岡市博多区上川端町1-2-2 0 ふくぎん博多ビル	tel. 092-262-9405	fax. 092-262-5114

www.alpolic.jp

●本カタログ記載の内容については、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●本カタログからの無断転載を禁じます。

2023年6月28日改訂(YM)